

# イーグル・クランプ

## コンクリート製品用 クランプ

### 取扱説明書

ご使用前に必ずご一読下さい



M-Fa-08

**ISO-9001**  
A.C.NO. YKA 0200132

Design, Manufacture, Maintenance and Management



# イーグル・クランプ 株式会社

この度「イーグルクランプ コンクリート 二次製品用  
クランプ」をお買上げ頂き、誠に有難うございます。

この製品は十分な強度と安全性を考慮し、安全規則に準拠した安全率を以って製作致しておりますが、引張り、吊揚げ、運搬等重要な用途に使用されますので、この説明書をよくお読み頂き、正しい使用方法で安全にお使い下さいますようお願い申し上げます。

弊社はつり具の専門メーカーとしてご使用中のクランプの保安全管理に留意し、巡回サービスによる定期点検、及び不良品の交換等、安全対策に万全を期しております。しかし何分にも多方面にわたりご使用頂いておりますので、訪問点検は、緊急の場合を除き、当社の計画予定サイクルで実施させて頂いております。

つきましては、現在貴社にてご使用中のクランプ及び、つり具について、メーカーを問わず労働安全衛生規則に則った自主点検を実施して頂きまして、つり具による事故の絶無にご配慮下さいますようお願い致します。

なお、イーグル・クランプの点検に付きましては、後記の点検基準表をご参照の上、不良品は使用禁止とし、部品交換、又は修理の処置をお願い致します。

修理不能品は誤使用に因る事故を防止するため廃棄処分として下さい。

交換部品、修理品、点検サービスのご用命、製品等についてのご意見は、イーグル・クランプ取扱店、及び最寄の弊社営業所にて承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

## ■保証期間

製品保証書に記載

## WARNING

## 警 告

1. 表示容量の厳守。  
規定容量(基本使用荷重、開口)以内で使用する事。
2. 一点つり厳禁、二点つり以上厳守。
3. 始業点検の厳守。  
点検シールの点検月を確認する事。
4. 差込み深さの厳守。※1  
鋼板又はつり荷は開口部一杯まで差し込む事。
5. 安全ロック使用の厳守。  
ロック式クランプは安全ロックを閉じて使用する事。
6. 締め付けトルクの厳守。※2  
螺式クランプの締め付けネジは規定以上の強さで締め付ける事。
7. 頭上作業、運搬の厳禁。  
人の頭上をつり荷を通過させたり、頭上でクランプ作業をしてはならない。
8. 落下転倒範囲内立入り厳禁。  
引き起こし、反転、着床時、つり荷の転倒、落下範囲内に立ち入らない事。
9. 整備不良、未点検クランプの使用厳禁。  
カム、旋回あご、締め付けネジの歯の摩耗、脱落、損傷したクランプは使用しない事。
10. 重ねつり厳禁。  
一度に2枚以上の鋼板をつる事は出来ない。
11. 偏心つり厳禁。  
クランプは、つり荷の重心が中心に来る位置にバランス良く取り付ける事。
12. 衝撃荷重厳禁。  
つり上げ運搬時の衝撃荷重に注意してクレーンを操作する事。

## クランプによる事故の主な原因

- ① 1点吊
- ② 整備不良クランプの使用  
(摩耗・変形・作動不良・脱落等)
- ③ 操作方法の誤り  
(取付け、操作手順)
- ④ 吊揚後の吊荷の状況判断の誤り等  
(危険予知能力の不足)  
(玉掛知識、経験の不足)  
(偏荷重による吊荷の傾き)
- ⑤ 機種選定の誤り
- ⑥ クレーン操作の誤り
- ⑦ 仕様範囲外(板厚、重量)の使用
- ⑧ 無理な使用方法によるもの

落下転倒範囲内の作業

## —目 次—

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| ■イーグル・クランプの管理について……………     | 2       |
| ■各機種共通の注意事項……………           | 3 ～ 6   |
| ■各機種共通の点検事項……………           | 7 ～ 9   |
| ■各機種の仕様・使用方法               |         |
| 使用上の注意事項……………              | 10 ～ 38 |
| ・ E C H 型 ( U 字溝つり上げ用 ) …… | 10 ～ 15 |
| ・ E F G 型 ( 支柱基礎ブロック用 ) …… | 16 ～ 20 |
| ・ E C 型 ( パネル用 ) ……        | 21 ～ 26 |
| ・ E C A 型 ( パネル用 ) ……      | 27 ～ 32 |
| ・ E L C 型 ( 道路側溝用 ) ……     | 33 ～ 38 |

# 1. イーグル・クランプの 管理について

1. 保管場所は必ず屋内とし屋外に放置してはいけません。
2. 毎週一回は保管責任者に於いて別に定められた点検基準に依り点検をする。尚2ヵ月～3ヵ月に一回は必ずメーカーの点検を受けて下さい。
3. 点検に依り熔接部の亀裂、其の他摩耗、等の損傷が発見されたものは例え小さなものでも直ちに使用を中止して下さい。  
(イ)作動状態 (ロ)歯板・ウス・ゴムパッドの摩耗  
(ハ)開口部の開き
4. 使用を中止したクランプは別に保管し現場に放置してはいけません。
5. 保管前に必ず、クランプを点検し、泥を落とし注油をお願いします。
6. 点検表は必ず点検日毎に記録して下さい。
7. 本体、部品共特殊鋼を使用しておりますので熔接等の熱を加えないで下さい。

## 2. 各機種共通の注意事項

- (1)吊荷の下には、絶対に入らないで下さい。(図1)

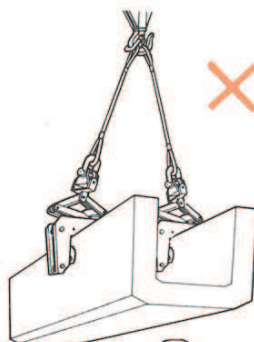
- (2)クランプに表示の安全荷重以内で使用下さい。(オーバーロード厳禁)

- (3)吊り上げ物の形状・寸法・重量をよく確認し、適応機種を選定して下さい。

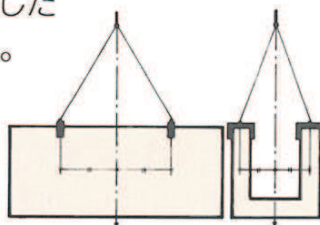
- (4)確実な重心の割り出し。(図2)

- (5)歯板・ウス・ゴムパッドが摩耗すると滑ります。早目、早目に交換して下さい。

- (6)変形、損傷、作動不良等、故障したクランプは使用しないで下さい。

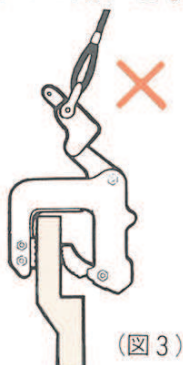


落下・転倒の範囲  
内立入り禁止。  
(図1)

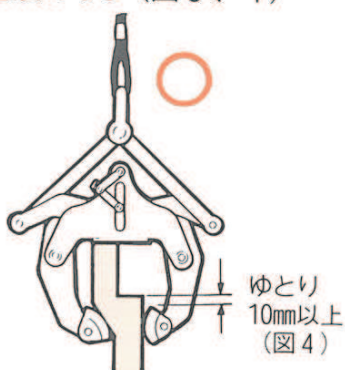


(図2)

(7)蓋掛け式U字溝や溜桝を吊る場合、上部の肉厚の薄い箇所を吊ると割れる事があり危険です。(図3、4)



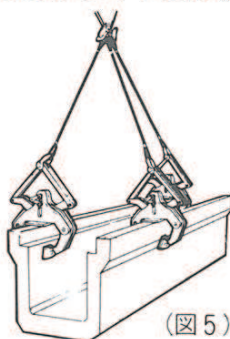
(図3)



ゆとり  
10mm以上  
(図4)

(8)原則として2点吊以上を厳守して下さい。

①U字溝を吊る場合は、3台以上のクランプを使用3、4点吊の励行(図5)



(図5)

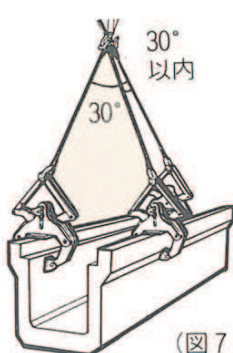
②パネル状の製品は、2台以上のクランプを使用(2点吊以上)(図6)



(図6)

(9)2台以上で吊る場合は、上部吊角度30°以内、又は、天秤を使用して下さい。(図7)

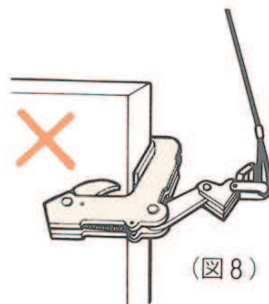
- クランプ1台に玉掛ワイヤーを1本取付けて下さい。



(図7)



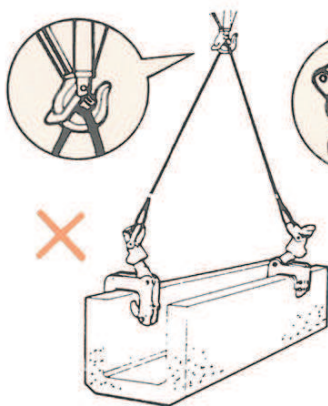
- (10) (図8) のような端方向からの吊り方は出来ません。



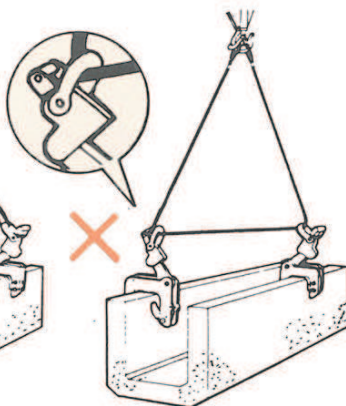
(図8)

- (11) 1本のワイヤーの両端にクランプを取り付けたり、(図9)。2台のクランプを1本のワイヤーで絞って吊らない。(図10)

※クランプ1台に玉掛用ワイヤーを1本取り付けて下さい。(図11)



(図9)



(図10)



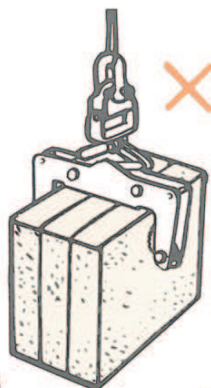
(図11)

- (12) 埋めてある製品を掘起こす時は、重量以外の荷重が掛かりますので充分注意して下さい。

- (13) 養生中のコンクリートは割れ易いので危険です。

- (14) 2枚以上の重ね吊りはできません。  
(図12)

(図12)



- (15) 吊荷を必ずクランプ開口部の奥まで差し込み、吊り揚げ時滑っていないか確認して下さい。(図13)

奥まで差しこむ

5 mm以内



(図13)

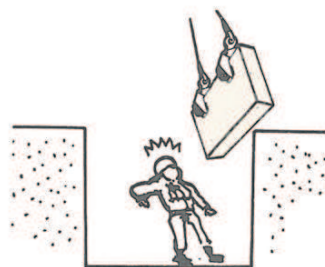
- (16) 吊り揚げ運搬中、吊荷を他の物に当てないで下さい。

- (17) 着床時、吊荷を不安定な状態で着床しないで下さい。(図14)

- (18) クランプは必ず使用前点検をして下さい。変形・摩耗、作動不良を起こしていないか。

- (19) 使用後も点検の上、泥落とし等の掃除をし、注油して下さい。

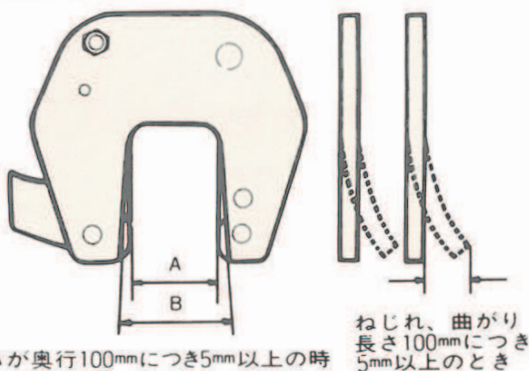
- (20) クランプに異常を感じた場合は、ただちに使用を停止し、使用禁止の処置をした上で、メーカーの点検を受けて下さい。



(図14)

### 3. 各機種共通の点検事項

#### 1 本体



B-Aが奥行100mmにつき5mm以上の時

- 溶接部にキレツのあるもの、本体の変形したものは使用できません。
- 開口部が上図の状態のときは使用できません。

#### 2 歯板(カム) の使用限度

- 摩耗巾 2mm  
※ECH型は、2.5mm



これ以上に摩耗した場合はすぐに歯板を新品と取換えて下さい。

- 歯コボレ

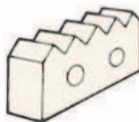
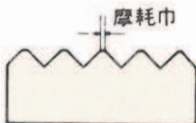
1ヶ所まで

2ヶ所以上は取換えます。



#### 3 ウス

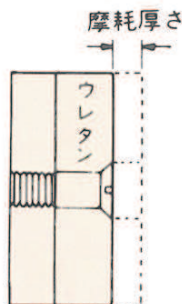
- 摩耗巾 2mm



- 歯コボレ 1ヶ所まで 2ヶ所以上は取換えます。

#### 4 ウレタンパッド

- 摩耗厚さ  
止めビスの頭が表面に出たとき
- めくれたもの

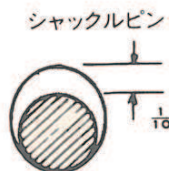


#### 5 アーム・リンク の使用限度

- 曲り、ねじれた限度が長さ100mmにつき5mm以上あるもの

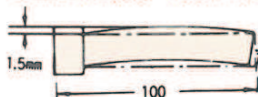
#### 6 ピン穴の変形と摩耗限度

1/10以上あるもの



#### 7 各ピン・ボルト類

- 曲り限度 100mmにつき1.5mm



長さ100mmにつき曲り1.5mm以内

- 摩耗限度 ピン径の1/20



(ノギスで点検して下さい)

- ナットの脱落 ※各ピン、ボルト共特殊鋼を使用しています。純正部品をご用命下さい。

#### 8 安全ラッチ・開放装置等

- ラッチの動きをスムーズにして下さい。
  - スプリングの伸びは新品寸法の10%以下が望ましい。又ねじれ、わん曲したものは交換して下さい。
  - ラッチとクランプ本体の取付穴及びボルトが摩耗すると安全ロックの効果が半減しますので、早目に修理して下さい。
- 二) 開放装置がこわれると、本体の作動不良を起こすことがありますので、ご注意下さい。

## 9 **スプリング**

- イ) 新品寸法の10%以上伸びたもの。  
ロ) 切れたもの。 ハ) 折れ曲ったもの。

## 10 **吊 環**

曲ったものは交換して下さい。



## 11 **ロールピン**

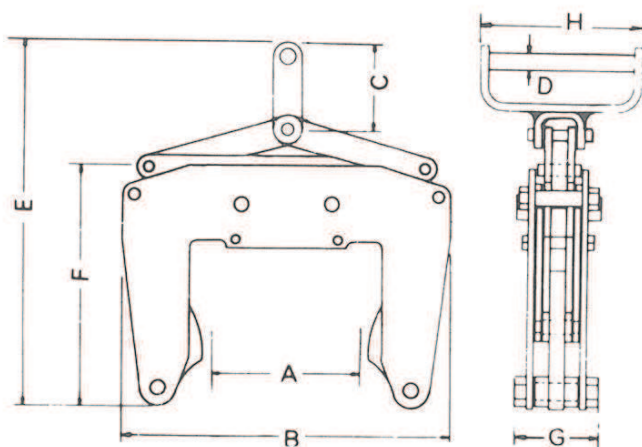
ロールピン(割ピン代用品)が不完全なものは直ぐ取替えて下さい。上記の項目に照らして不適合なものは取替え或は修理完了迄使用を禁止して下さい。

## 12 **注 油** 箇所について

クランプを安全且つ長期間使用するためには次の要領に依り注油して下さい。

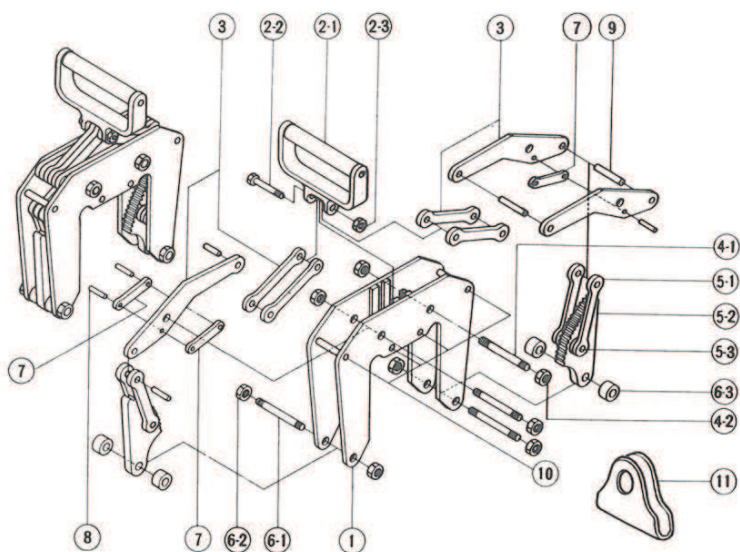
- 1)まず、クランプについた泥を落して下さい。
- 2)各ピン・ボルト類の回転、スライドする部分及び穴、溝。
- 3)スプリングは錆びて折れたり、伸び易くなります。  
常に全体に油が付いている状態にして下さい。

## 1. 仕様・寸法



| 型 式     | 揚量<br>(kg) | 開 口 部<br>A | 寸 法 (mm) |    |    |         |     |    |     | 重 量<br>(kg) |
|---------|------------|------------|----------|----|----|---------|-----|----|-----|-------------|
|         |            |            | B        | C  | D  | E       | F   | G  | H   |             |
| ECH-100 | 100        | 30～60      | 172      | 55 | 19 | 240～304 | 156 | 54 | 101 | 2.5         |
| ECH-100 | 100        | 100～150    | 264      | 55 | 19 | 245～345 | 168 | 54 | 101 | 3.7         |
| ECH-100 | 100        | 150～190    | 300      | 55 | 19 | 252～350 | 168 | 54 | 101 | 3.8         |
| ECH-200 | 200        | 50～100     | 220      | 55 | 19 | 258～364 | 162 | 54 | 101 | 3.6         |

## 2. 分解図と部品名



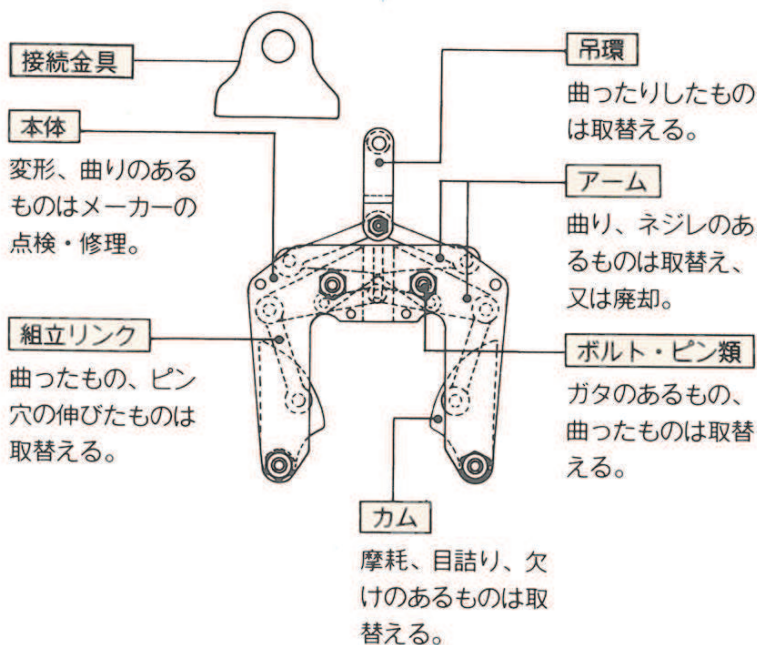
|   |        |           |    |                |     |       |
|---|--------|-----------|----|----------------|-----|-------|
| 1 | 本 体    |           | 6  | カム ボルト         | 6-1 | ボ ル ト |
| 2 | 吊 環    | 2-1 吊 環   |    |                | 6-2 | ナ ッ ト |
|   |        | 2-2 ボ ル ト |    |                | 6-3 | カ ラ ー |
|   |        | 2-3 ナ ッ ト | 7  | ガイドリンク         |     |       |
| 3 | アームリンク |           | 8  | ガイドリンクピン       |     |       |
| 4 | アームボルト | 4-1 ボ ル ト | 9  | アームリンクピン       |     |       |
|   |        | 4-2 ナ ッ ト | 10 | 本体ピン(段付)       |     |       |
| 5 | 組立リンク  | 5-1 リンク   | 11 | アタッチメント(アダプター) |     |       |
|   |        | 5-2 歯 板   |    |                |     |       |
|   |        | 5-3 カシメピン |    |                |     |       |

### 3. 安全率

許容荷重の5倍以上  
(クレーン取扱い規則による)

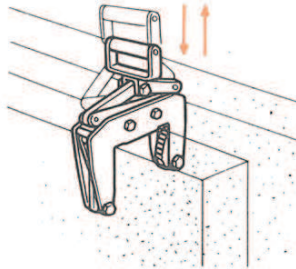
### 4. 使用方法

#### (A) 始業点検



## (B) 取 付

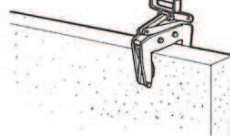
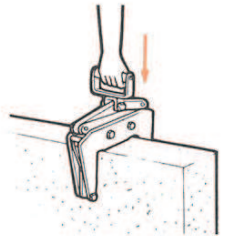
取手を本体内に押込む➡（カムが開放する）➡吊荷に開口部の奥が当るまで深く差し込む➡クランプの取付状態を確認



## (C) 引き起こし・吊揚

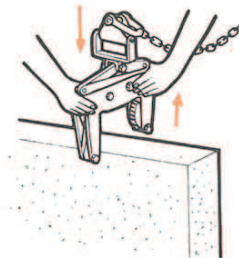
クレーンを巻き上げ、吊環に荷重が掛かった時点でいったん停止➡クランプの差し込み状態・ワイヤー (or チェン) の吊角度を確認➡巻き上げ再開

\*クランプに完全に荷重が掛かるまでの状態は危険なので要注意



## (D) 吊降ろし・取り外し

吊荷を静かに降ろす➡吊荷が傾いたり、転倒しない事を確認➡吊環に荷重がかからなくなるまでクレーンを巻降ろす➡クランプの取手を本体内に押し込み開口部を開く➡本体を手で持って吊荷から外す

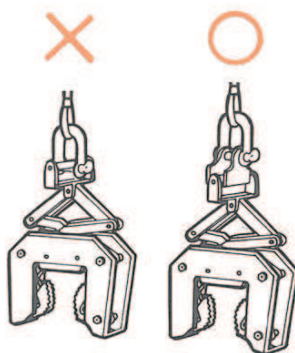


## 5. 使用上の注意事項

◎ 3 頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

- 揚量の小さなクランプです。

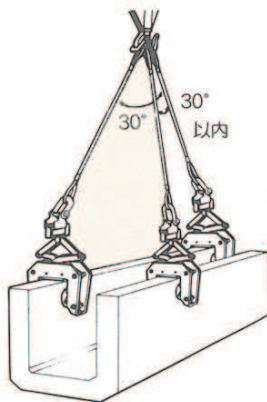
荷重オーバーにご注意。



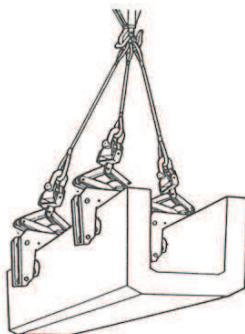
- クレーンで吊揚作業を行う場合、必ず付属の接続金具を使用する。

- 泥・油等の付着、水濡れは拭き取る。

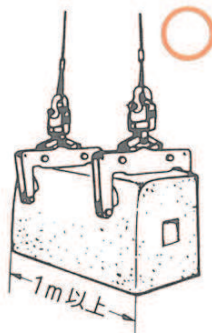
- ワイヤー又はチェーンのつり角度30度以内。



- 長さ1メートル以上のU字溝等は3点吊り以上を厳守。



- クランプする側の長さ1メートル以上の板(棒)状の吊荷の場合2点吊厳守。

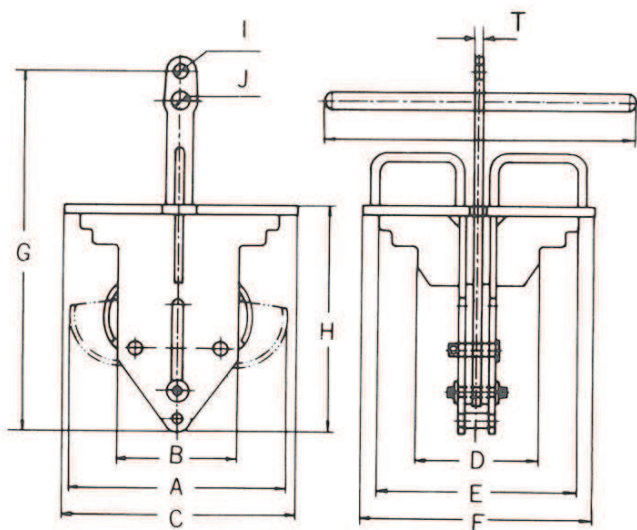


- 本体・部品の摩耗、変形、損傷したクランプの使用は厳禁。

- このクランプでの引き起こし、反転作業は禁止。クランプ角度  $90^{\circ} \pm 10^{\circ}$

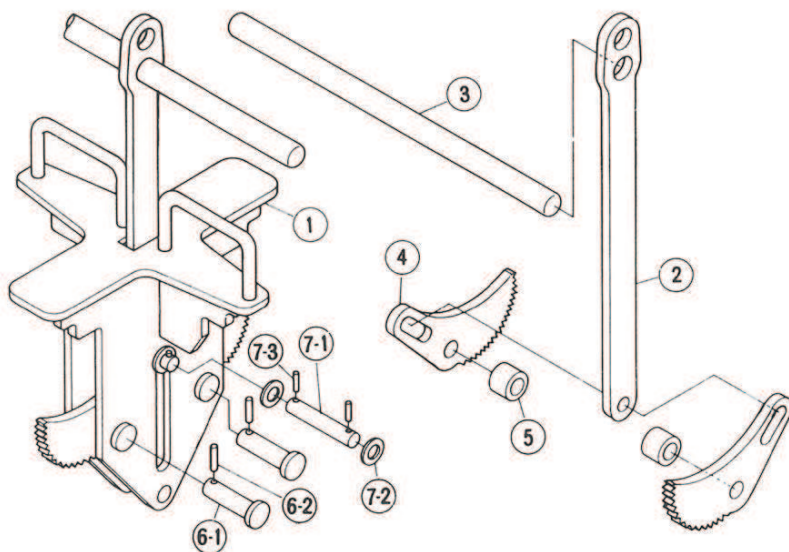


### 1. 仕様・寸法



| 型 式     | 揚量<br>(kg) | 適 用<br>サイズ(A) | 寸 法 (mm) |     |    |     |     |         |     |     |       |    | 重量<br>(kg) |
|---------|------------|---------------|----------|-----|----|-----|-----|---------|-----|-----|-------|----|------------|
|         |            |               | B        | C   | D  | E   | F   | G       | H   | I   | J     | T  |            |
| EFG-0.1 | 100        | 100~160       | 94       | 180 | 95 | 155 | 180 | 275~345 | 175 | 13φ | 14.2φ | 12 | 3.1        |
| EFG-1.0 | 1000       | 125~140       | 100      | 170 | 90 | 136 | 170 | 250~297 | 199 | 18φ | —     | 14 | 5.1        |

## 2. 分解図と部品名



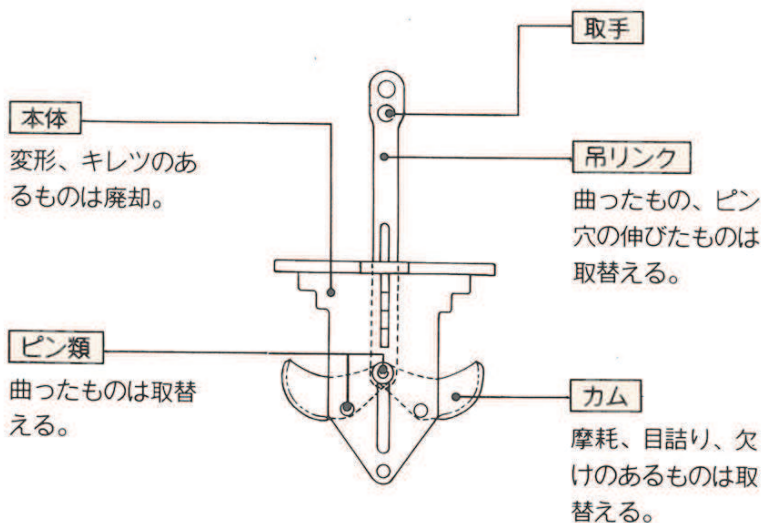
|   |         |   |             |     |        |
|---|---------|---|-------------|-----|--------|
| 1 | 本 体     | 6 | カ ム ビ ン     | 6-1 | カムピン   |
| 2 | 吊 リ ン ク |   |             | 6-2 | ロールピン  |
| 3 | 取 手     | 7 | ス ラ イ ド ピ ン | 7-1 | スライドピン |
| 4 | 齒 板     |   |             | 7-2 | ワッシャ   |
| 5 | カ ラ ー   |   |             | 7-3 | ロールピン  |

## 3. 安全率

許容荷重の5倍以上  
(クレーン取扱い規則による)

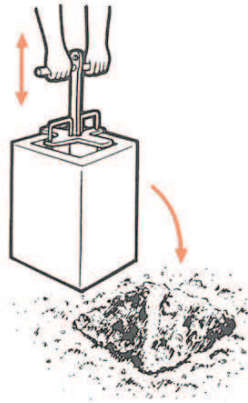
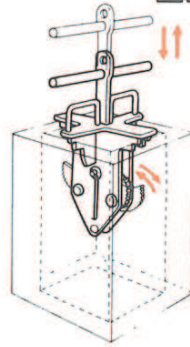
## 4. 使用方法

### (A) 始業点検



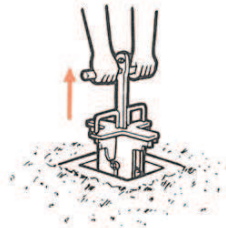
## (B) 取付・運搬

本体の把手を持ち上げる  
 (歯が本体内に収まる) ➡ ブロックの穴に直ぐ、クランプを差し込む ➡ 本体上部のガイドがブロックの中に入っている事を確認 ➡ 取手を引張ってカムを張り出し ➡ ブロック穴内面をクランプしていることを確認 ➡ 取手を持ち上げ運搬 ➡ 運搬中他の物に当たらない ➡ 所定の穴にブロックを降ろす



## (C) 取り外し

位置決め完了 ➡ 本体の取手を持って ➡ クランプを引抜く ➡ (カムがブロックに食い込んだ時は、吊リンクの頭を軽くたたく)



## 5. 使用上の注意事項

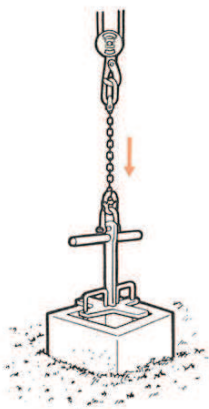
◎ 3 頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

- 引き起こし作業時は、必ずカ  
ムが上下方向に作動するよう  
にセットする。



- 無理な引き起こしは厳禁。

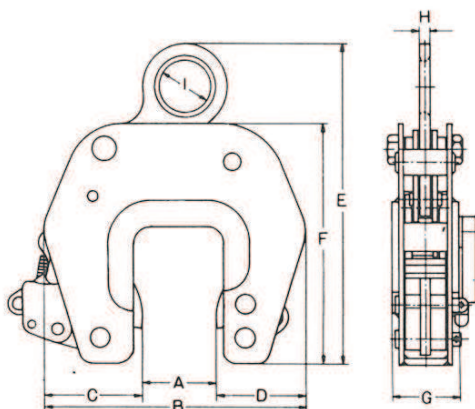
- 重機（クレーン等）を使用す  
る場合は、吊シャックルを使  
用し、吊チェーン等と接続す  
ること。



# EC型

## コンクリートパネル 引起こし・吊揚・運搬用 (無傷クランプ)

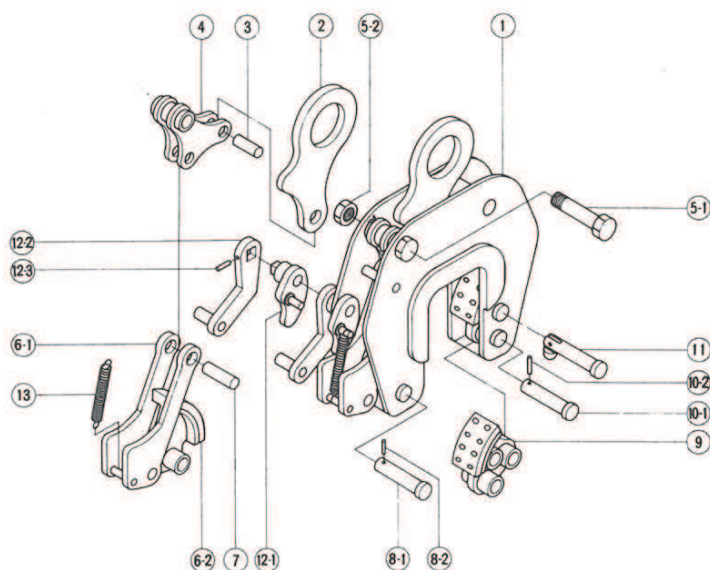
### 1. 仕様・寸法



EC

| 型 式     | 揚 量<br>(kg) | 適 用<br>サイズ(A) | 寸 法 (mm) |     |     |         |     |    |    |     | 重 量<br>(kg) |
|---------|-------------|---------------|----------|-----|-----|---------|-----|----|----|-----|-------------|
|         |             |               | B        | C   | D   | E       | F   | G  | H  | I   |             |
| E C-0.5 | 500         | 30~80         | 305      | 187 | 118 | 370~435 | 280 | 78 | 12 | 60φ | 13.0        |

## 2. 分解図と部品名



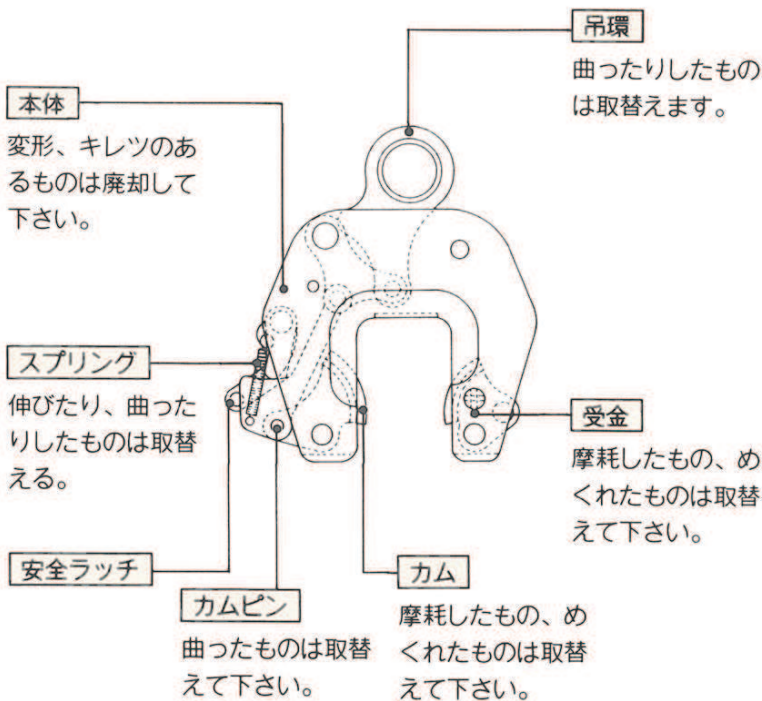
|   |         |     |       |    |         |      |         |
|---|---------|-----|-------|----|---------|------|---------|
| 1 | 本 体     |     |       | 9  | 調 整 カ ム |      |         |
| 2 | 吊 環     |     |       | 10 | 調整カムピン  | 10-1 | ピ ン     |
| 3 | 吊 環 ピ ン |     |       |    |         | 10-2 | ロールピン   |
| 4 | リ ン ク   |     |       | 11 | 位置決めピン  |      |         |
| 5 | Lリンクボルト | 5-1 | ボルト   | 12 | 安全ラッチ   | 12-1 | ラッチカム   |
|   |         | 5-2 | ナット   |    |         | 12-2 | ラッチハンドル |
| 6 | 組立リンク   | 6-1 | リンク   |    |         | 12-3 | ロールピン   |
|   |         | 6-2 | 歯 板   | 13 | スプリング   |      | スプリング   |
| 7 | リンクピン   |     |       |    |         |      |         |
| 8 | カ ム ピ ン | 8-1 | ピ ン   |    |         |      |         |
|   |         | 8-2 | ロールピン |    |         |      |         |

### 3. 安全率

許容荷重の5倍以上  
(クレーン取扱い規則による)

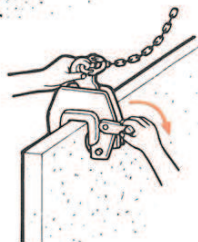
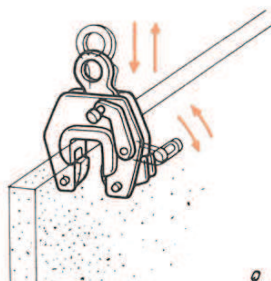
### 4. 使用方法

#### (A) 始業点検



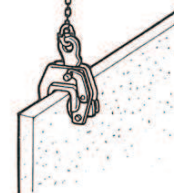
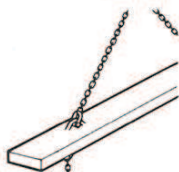
## (B) 取 付

クランプ本体を立てた状態で  
環に手を添え、安全ラッチレバ  
ーを下に押し下げ開放状態にす  
る⇒吊荷に差し込む⇒クランプ  
の取付位置を確認の上、安全ラ  
ッチレバーを引上げロック状態  
にする⇒取付状態の確認



## (C) 吊 揚 ・ 運 搬

クレーンを巻き上げ、吊荷に荷  
重が掛かった状態でいったん停  
止⇒クランプの差込状態・吊荷  
のバランス・チェーン（ワイヤー）  
の吊角度確認⇒吊揚再開



## (D) 吊 降 ろ し ・ 取 り 外 し

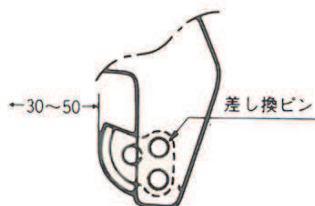
吊荷を静かに降ろす⇒吊荷が傾  
いたり、転倒しないことを確認  
⇒吊荷に荷重が掛からなくなる  
までクレーンを降ろす⇒ラッチ  
レバーを押し下げ開放にしてク  
ランプを吊荷から外す



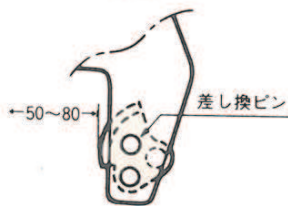
## 5. 使用上の注意事項

◎ 3 頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

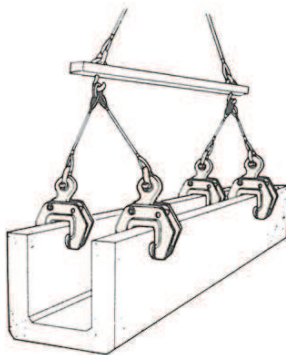
- 開口部は吊荷の厚さに合わせて (30~50) 又は (50~80) となる様、調整カムで調整する。



- 長さ1メートル以上の道路側溝を吊る場合は3点吊以上を厳守。



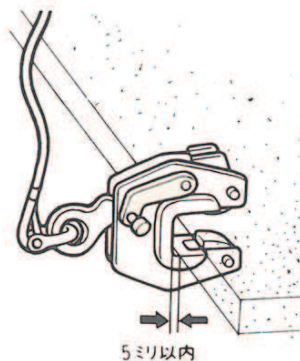
- 2点吊以上の場合の吊角度は30度以内。



- 吊荷及びクランプのウレタン部分に泥・砂の付着や水濡れがある場合はきれいに拭き取る。



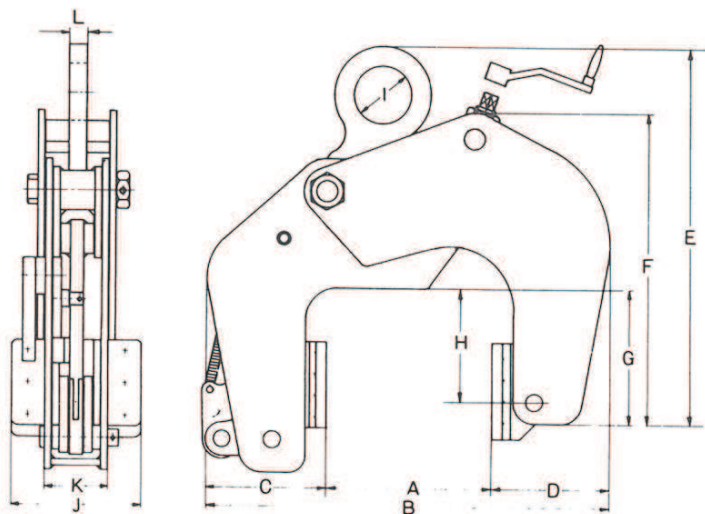
- 引き起こし、反転作業時、クランプを横から差し込む場合、安全ラッチをロックしてから差し込み状態を再確認する。



# ECA<sub>型</sub>

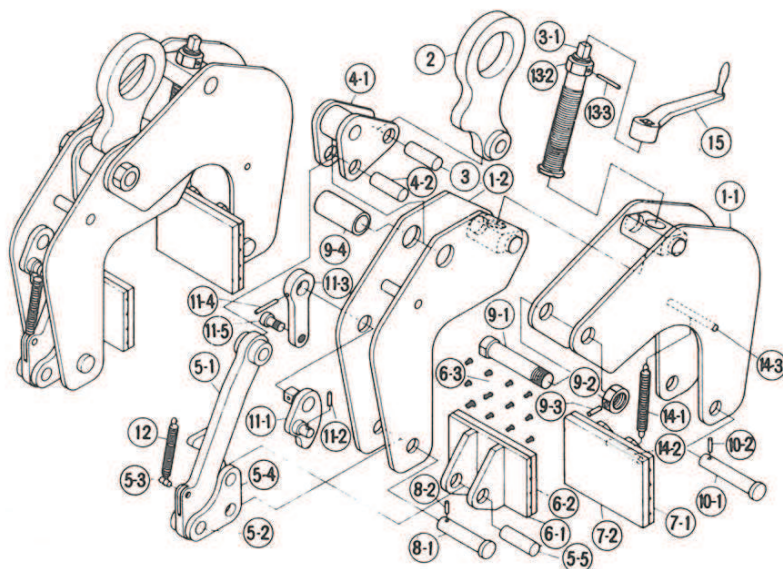
コンクリートパイプ  
引起し・吊揚・運搬用  
(開口調整式)

## 1. 仕様・寸法



| 型式    | 揚量   | 適用<br>サイズ(A) | 寸 法 (mm) |     |     |         |     |     |     |     |     |    |    | 重量<br>(kg) |
|-------|------|--------------|----------|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|------------|
|       |      |              | B        | C   | D   | E       | F   | G   | H   | I   | J   | K  | L  |            |
| ECA-1 | 1000 | 50~150       | 325~375  | 110 | 110 | 350~480 | 290 | 125 | 105 | 54φ | 120 | 72 | 16 | 15.5       |

## 2. 分解図と部品名



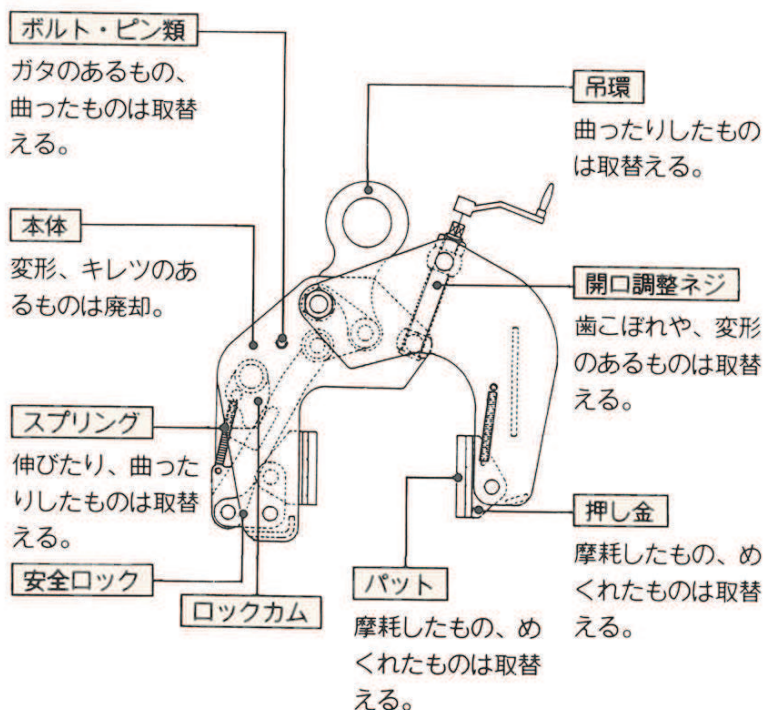
|   |           |     |         |       |    |                 |      |        |
|---|-----------|-----|---------|-------|----|-----------------|------|--------|
| 1 | 本 体       | 1-1 | 外 側     | 側 側   | 9  | 本 体 ボ ル ト       | 9-1  | 本体ボルト  |
| 2 | 吊 環       | 1-2 |         |       |    |                 | 9-2  | ナ ッ ト  |
| 3 | 吊 環 ピ ン   |     |         |       |    |                 | 9-3  | ローレルピン |
| 4 | レ リ ン ク   | 4-1 | レ リ ン ク |       |    |                 | 9-4  | スリープ   |
|   |           | 4-2 | レ リ ン ク |       | 10 | 押 シ 金 ピ ン       | 10-1 | 押シ金ピン  |
|   |           | 5-1 | リ ン ク   |       |    |                 | 10-2 | ローレルピン |
| 5 | リ ン ク     | 5-2 | リ ン ク   |       |    |                 | 11-1 | ロックカム  |
|   |           | 5-3 | リ ン ク   |       |    |                 | 11-2 | ローレルピン |
|   |           | 5-4 | ロ ー ル   |       | 11 | 安 全 ロ ッ ク       | 11-3 | ロックレバー |
|   |           | 5-5 | カ ム     |       |    |                 | 11-4 | ローレルピン |
|   |           |     | カ ム     |       |    |                 | 11-5 | ニ ギ リ  |
|   |           |     | リ ン ク   |       |    |                 |      |        |
| 6 | 押シ金 (内側用) | 6-1 | 台       | 板     | 12 | ロ ッ ク ス プ リ ン グ |      |        |
|   |           | 6-2 | パ       | 板     |    |                 | 13-1 | ネ ジ 棒  |
|   |           | 6-3 | 止       | メ     | 13 | 開 口 調 整 用 ネ ジ   | 13-2 | ナ ッ ト  |
|   |           |     | メ       | ネ     |    |                 | 13-3 | ローレルピン |
| 7 | 押シ金 (外側用) | 7-1 | 台       | 板     |    |                 | 14-1 | スプリング  |
|   |           | 7-2 | パ       | 板     |    |                 | 14-2 | ローレルピン |
|   |           | 7-3 | 止       | メ     |    |                 | 14-3 | ローレルピン |
|   |           |     | メ       | ネ     |    |                 |      |        |
| 8 | カムリンクピン   | 8-1 | カ ム     | リ ン ク |    |                 |      |        |
|   |           | 8-2 | ロ ー ル   | ピ ン   | 15 | 調 整 用 ハ ン ド ル   |      |        |

## 3. 安全率

許容荷重の5倍以上  
(クレーン取扱い規則による)

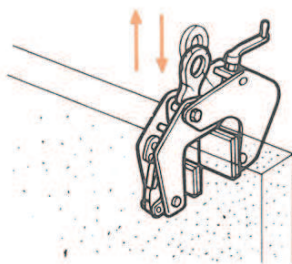
## 4. 使用方法

### (A) 始業点検



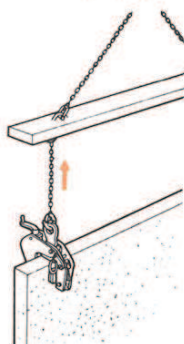
## (B) 取 付

開口調整ハンドルを反時計方向に回し開口部を開く⇒安全ラッチレバーを押し下げ開放状態にする⇒吊荷に差し込む⇒クランプの取付位置を確認⇒開口調整ハンドルを回し開口部が吊荷に当る迄しっかり締めこむ⇒安全ラッチレバーを引上げロック状態にする⇒取付状態の確認



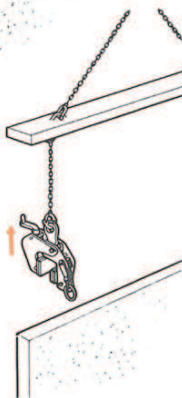
## (C) 吊揚・運搬

クレーンを巻き上げ、吊荷に荷重が掛かった状態でいったん停止⇒クランプの差込状態・吊荷のバランス・チェーン（ワイヤー）の吊角度確認⇒吊揚再開



## (D) 吊降ろし・取り外し

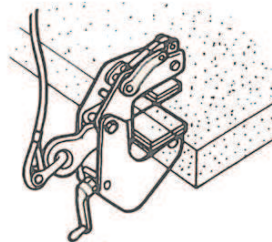
吊荷を静かに降ろす⇒吊荷が傾いたり、転倒しないことを確認⇒吊荷に荷重が掛からなくなるまでクレーンを降ろす⇒ラッチレバーを押し下げ開放にしてクランプを吊荷から外す  
(クレーンに吊ったままで取り外し可能。)



## 5. 使用上の注意事項

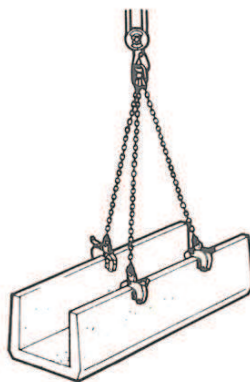
◎ 3頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

- ECA型は安全装置をロック状態にする前に、開口調整ハンドルを十分に締めこむ。
- 開口調整は、吊環を無負荷の状態にして操作する事。
- 吊荷及びクランプのウレタン部分に泥・砂の付着や水濡れがある場合はきれいに拭き取る。
- 引き起こし、反転作業の為、クランプを横方向から、差し込む場合、安全ロックをセットしてから差し込みを再確認の事。

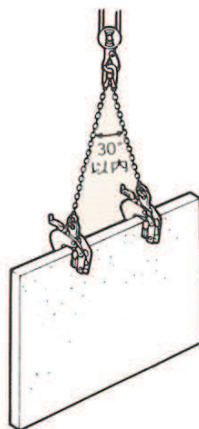


ハンドルを下にして  
引き起こし。

- 長さ1メートル以上の道路側溝を吊る場合は3点吊以上を厳守。



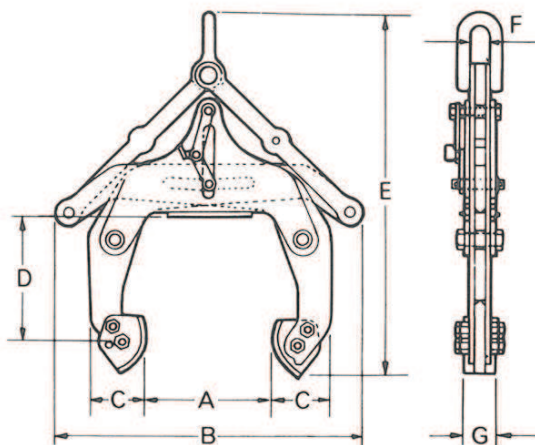
- 2点吊以上の場合の吊角度は30度以内。



# ELC<sub>型</sub>

道路側溝  
吊揚・運搬専用

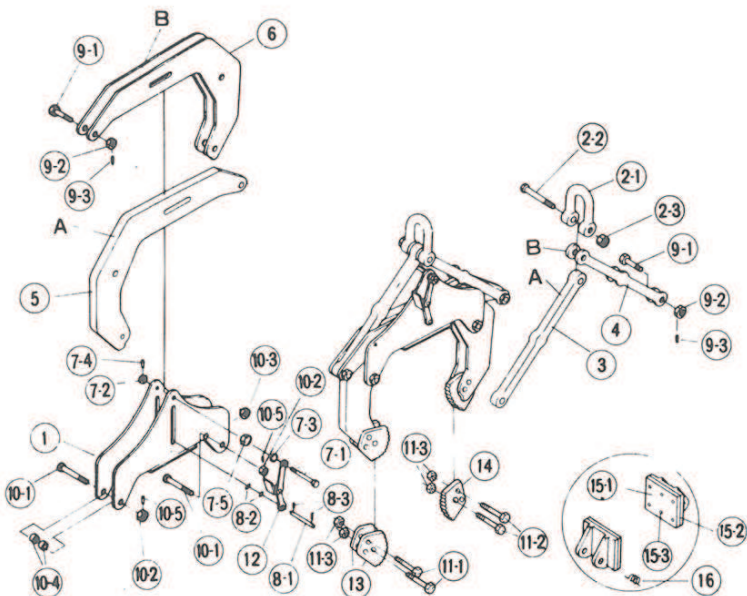
## 1. 仕様・寸法



| 型 式        | 揚 量<br>(kg) | 開口部<br>A | 寸 法 (mm) |    |     |     |    |    | 重 量<br>(kg) |
|------------|-------------|----------|----------|----|-----|-----|----|----|-------------|
|            |             |          | B        | C  | D   | E   | F  | G  |             |
| E L C -0.5 | 500         | 30~130   | 400      | 80 | 170 | 450 | 33 | 70 | 10 (1 台)    |
| E L C -0.5 | 500         | 50~150   | 400      | 80 | 170 | 450 | 33 | 70 | 10 (1 台)    |
| E L C -1   | 1,000       | 60~160   | 420      | 90 | 180 | 480 | 33 | 70 | 19 (1 台)    |

ELC

## 2. 分解図と部品名



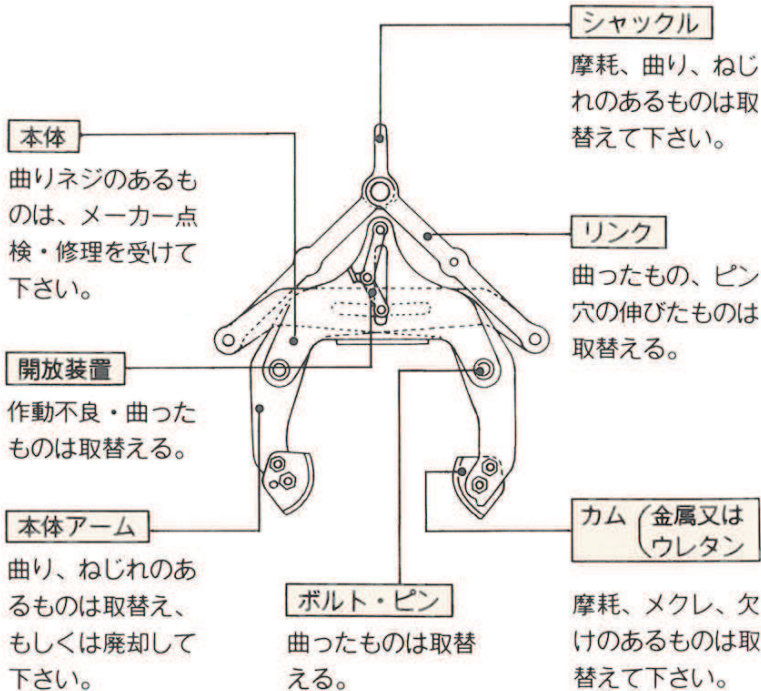
|   |           |     |          |    |               |      |              |
|---|-----------|-----|----------|----|---------------|------|--------------|
| 1 | 本 体       |     |          |    |               | 10-1 | アームボルト       |
|   |           | 2-1 | シャックル本体  |    |               | 10-2 | ナット          |
| 2 | シャックル     | 2-2 | ボルト      | 10 | ア ー ム ボ ル ト   | 10-3 | 内側カラー (1コ)   |
|   |           | 2-3 | ナット      |    |               | 10-4 | 外側カラー (2コ)   |
| 3 | 内 側 リンク   |     |          |    |               | 10-5 | ロールピン        |
| 4 | 外 側 リンク   |     |          |    |               | 11-1 | 内側カムボルト (2本) |
| 5 | 内 側 アーム   |     |          | 11 | カ ム ボ ル ト     | 11-2 | 外側カムボルト (2本) |
| 6 | 外 側 アーム   |     |          |    |               | 11-3 | ナット (4コ)     |
|   |           | 7-1 | 本体ボルト    | 12 | 開 放 金 具       |      | (カシメピン付)     |
|   |           | 7-2 | ナット      | 13 | 外側開口調整カム (1枚) |      |              |
| 7 | 本 体 ボ ル ト | 7-3 | 幅ギメピンカラー | 14 | 内側開口調整カム (2枚) |      |              |
|   |           | 7-4 | ロールピン    |    |               | 15-1 | ウレタン         |
|   |           | 7-5 | ラッチ止めカラー | 15 | ウ レ タ ン バ ッ ド | 15-2 | 受 金          |
|   |           | 8-1 | ラッチ中間ピン  |    |               | 15-3 | 止めビス         |
| 8 | ラッチ中間ピン   | 8-2 | 幅ギメワッシャ  | 16 | キ ッ ク バ ネ     |      | (バッド用)       |
|   |           | 8-3 | ロールピン    |    |               |      |              |
|   |           | 9-1 | リンクボルト   |    |               |      |              |
| 9 | リンクボルト    | 9-2 | ナット      |    |               |      |              |
|   |           | 9-3 | ロールピン    |    |               |      |              |

## 3. 安全率

許容荷重の5倍以上  
(クレーン取扱い規則による)

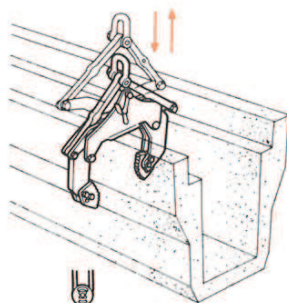
## 4. 使用方法

### (A) 始業点検



## (B) 取 付

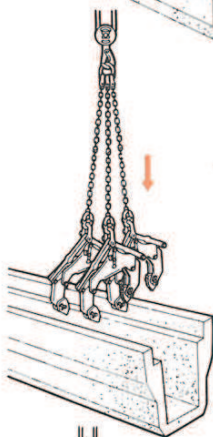
開放装置を効かせた状態で吊荷  
に上からクランプをセットする  
クランプの取付状態を確認➡



## (C) 吊揚

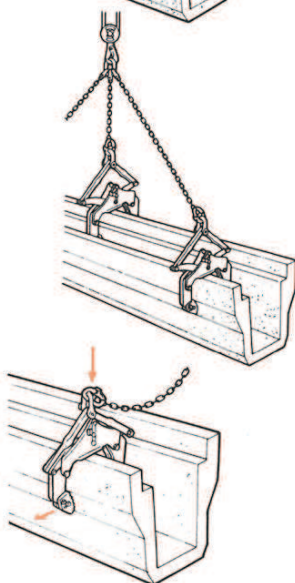
クレーンを巻き上げ、吊環に荷  
重が掛かった時点でいったん停  
止➡クランプの差し込み状態・  
ワイヤー (or チェン) の吊角度を  
確認➡巻き上げ再開

\*クランプに完全に荷重が掛か  
るまでの状態は危険なので注意



## (D) 吊降ろし・取り外し

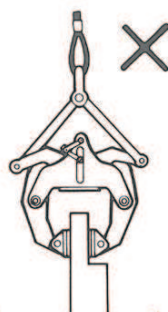
吊荷を静かに降ろす➡吊荷が傾  
いたり、転倒しない事を確認➡  
吊環に荷重がかからなくなるま  
でクレーンを巻降ろす➡吊環部  
を押し下げ開口部を開く➡開放  
装置をセットする➡クレーンを  
巻き上げクランプを吊荷から外  
す



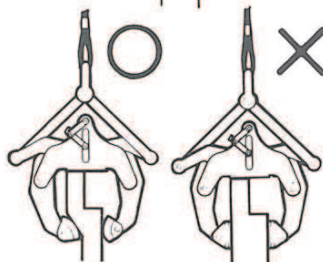
## 5. 使用上の注意事項

◎ 3 頁の各機種共通した注意事項以外に、以下の事項にご注意下さい。

- この構造のクランプは、引き起こし作業には使用しない。  
(EC、ECA型を使用)

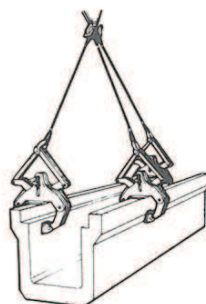


- 蓋掛式U字溝及びツバ付製品を吊る場合は、カム型押え金を使用し、段落し又は、ツバの下辺をクランプする様セットする。



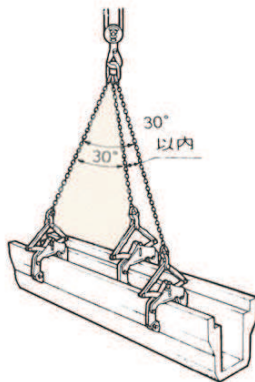
- ストレート・テープのあるコンクリート製品は吊れない。

- 長さ1メートル以上のU字溝は3点吊以上を厳守。



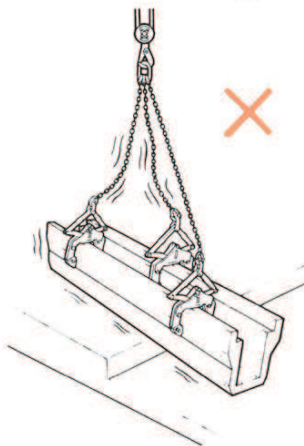
- 泥・油等の付着、水濡れは拭き取る。

- ワイヤ角度30度以内。



- 着地時、不安定な場所に降さない事。

- 反転・引き起こし作業不可。



## 定期点検記録

| 点検日<br>年 月 日 | シャックル | シャックルピン | 組立リンク | ハイタ | 安全ラッチ | スプリング | ラッチボルト | センウイアゴ | カムピン | マルカン | シャックルボルト | 締付ボルト | ウレタンパット | 注油 | 異常 | 備考 | 担当者サイン |
|--------------|-------|---------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|------|------|----------|-------|---------|----|----|----|--------|
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |
| . .          |       |         |       |     |       |       |        |        |      |      |          |       |         |    | 無  |    |        |

### ※注意事項

※ V…取替済 X…要交換

- イ 全体的に注油を実施して下さい。
- ロ オーバーロードに注意して下さい。
- ハ 吊揚物に応じたクランプを使用して下さい。
- ニ クランプの使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

本社／〒530-0005 大阪市北区中之島 6 丁目 2-40  
TEL (06) 6476-8150 (代) FAX (06) 6476-8155

札幌営業所／〒003-0837 札幌市白石区北郷 7 条 7 丁目 1-10  
TEL (011) 873-6053 (代) FAX (011) 873-6306

仙台営業所／〒983-0014 仙台市宮城野区高砂 1 丁目 27-3  
TEL (022) 254-5161 (代) FAX (022) 254-5163

北関東営業所／〒373-0806 群馬県太田市龍舞町 5342  
TEL (0276) 46-7331 (代) FAX (0276) 46-7004

東京営業所／〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 2-2-2  
TEL (045) 491-5355 (代) FAX (045) 491-9633

千葉営業所／〒290-0056 千葉県市原市五井 1205-1  
TEL (0436) 23-4811 (代) FAX (0436) 23-4812

名古屋営業所／〒453-0864 名古屋市中村区横前町 551-4-1  
TEL (052) 419-1301 (代) FAX (052) 419-1302

北陸出張所／〒921-8011 金沢市入江 3 丁目 132  
TEL (076) 291-2026 (代) FAX (076) 291-2027

大阪営業所／〒542-0012 大阪市中央区谷町 8 丁目 2-3  
TEL (06) 6762-2081 (代) FAX (06) 6768-8275

岡山営業所／〒700-0971 岡山市北区野田 3 丁目 13-35  
TEL (086) 246-1451 (代) FAX (086) 245-8951

広島営業所／〒733-0863 広島市西区草津南 3 丁目 7-9  
TEL (082) 279-6600 (代) FAX (082) 501-2566

小倉営業所／〒802-0064 北九州市小倉北区片野 3 丁目 4-14  
TEL (093) 921-1286 (代) FAX (093) 922-4379

長崎営業所／〒851-1132 長崎市小江原 4 丁目 2-5  
TEL (095) 844-9875 (代) FAX (095) 846-2251

海外事業部／〒630-0142 奈良県生駒市北田原町 1112-1  
TEL (0743) 72-0022 FAX (0743) 72-0056

技 術 部／〒630-0142 奈良県生駒市北田原町 1112-1  
TEL (0743) 78-0571 (代) FAX (0743) 78-0572

ユーザー新規登録・確認、定期点検についてのお問い合わせは、



0120-119-080

<https://www.eagleclamp.co.jp>